

働き方改革と女性活躍フォーラム(継続)

<< 活動詳細 >>

1. 分科会名称	働き方改革と女性活躍フォーラム
2. 分科会活動の概要	<p>労働人口の減少に伴い、働き方改革が本格化し職場環境が大きく変わり、活躍する人も変わってきています。その中で、女性が活躍できる職場、外国人が共に力を合わせられる職場など、ダイバーシティに向けて早急に考える必要があります。</p> <p>本フォーラムでは、育児、介護など男女問わず抱える直面した課題を、事例を含め情報交換を致します。</p> <p>本フォーラムは、キャリア研究会との共同開催となっております。</p> <p>*キャリア研究会(https://career-r.com/)とは、「自らを少しでも高めていきたい」「家庭と仕事の両立をしたい」という志のある女性たちにネットワーク作りの場を提供団体です</p>
3(1). 部会長	<p>部会長:キャリア研究会 会長 野木秀子様 KHA コンサルティング(株)代表、神奈川工科大学客員教授、神奈川県情報サービス産業協会・顧問、企業顧問、大学客員教授等女性コンピュータエンジニアの先駆けとして日立製作所を経て現 (株)CIJ 入社。取締役、副社長、顧問を経て 2014 年退職。 業界団体の委員をはじめ、横浜市教育委員、大学客員教授として教育関係にも力を注いでいる</p> <p>副部会長:キャリア研究会副会長 小林千里都様</p>
3(2). アドバイザー・講師	<p>・小嶋美代子様 (株)アワシャーレ代表、大手 IT 企業のダイバーシティ担当部長歴任、早期退社後、(株)アワシャーレ起業。ダイバーシティプロデューサーとして、幅広く活躍。</p> <p>・河北隆子様 日本女子経営大学院 代表理事・学長、働きながら学ぶ女性のためのビジネススクールを運営。女性管理職の育成に力を入れる。</p> <p>・青柳未央様 ダイバーシティ推進コンサルタント。元大手 IT 企業 IT エンジニアを経て、女性の力の最大化を目指したコンサルをしている。</p>
4. 参加対象、募集人数	<p>(1)参加対象 オープン参加(働き方改革を検討されている担当者、リーダーを目指す女性)</p> <p>(2)募集人数 男女 20名~30名</p>
5. 参加費用	<p>ABC協会会員企業 18,000円(年間)(消費税別)</p> <p>オープン参加 3,000円(一回)(消費税別)</p>
6. 開催日程、時間	<p>全7回 開催時間 16:00~18:30</p> <p>5月17日 (木) 青柳未央様 ダイバーシティと働き方改革について</p> <p>6月13日 (水) 青柳未央様 両立とキャリアを考える</p>

	<p>～個と組織の力を最大化するために必要なのは？</p> <p>7月4日（水）小嶋美代子様 「ダイバーシティを阻む厚い壁」 ～一致団結して多様性を受容できるか？</p> <p>9月3日（月）小嶋美代子様 「メンタリング活用のポイント」 ～メンター制度は誰のため？～</p> <p>10月16日（火）河北隆子様 上手くいく女性リーダー育成のポイント ～女性リーダーを後続させるためには」</p> <p>11月20日（火）佐久間まさよ様 稼ぐ”女性の発掘と育成の鍵 ～女性リーダーが活躍する2020年へ向けて～</p>
7. 開催場所	アイオス五反田(本館)2階 会議室 〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-10-7
8. 取り上げるテーマ	(1)ダイバーシティと働き方改革について概要 (2)両立とキャリアを考える (3)ライフシフト (4)21世紀型人材育成 (5)女性リーダー育成 (6)メンタリング (7)振り返り
9. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・参加し易さを考慮し、開催日、開催場所を変更する場合があります。 ・開催内容によっては、追加費用が掛かる場合がありますが、その際は事前にお知らせ致します。
10. ABC協会担当者	理事 岩田好廣

活動実績

第3回・4回 講師：株式会社アワシャーレ 代表取締役 小嶋 美代子

第3回 2018年7月4日 ダイバーシティを阻む厚い壁

～一致団結して多様性を受容できるか？～

一体感ある組織をつくる方法

違いあるひとを受け入れるとは

多様性ならやりたい放題？



第1回・2回 講師：株式会社 Woomax 人財育成コンサルタント 青柳 未央

第1回 2018年5月17日 ダイバーシティ推進を組織の発展に繋げるには？

ダイバーシティ推進と働き方改革の関係性

ダイバーシティ推進に必要な行動とは

個人視点×組織視点で理想の状態を描いてみよう



第2回 2018年6月13日 両立とキャリアを考える

～個と組織の力を最大化する～

総活躍が求められる時代背景

総活躍を実現するために必要なこと

自社の現状と他社の現状を知り

個人視点×組織視点で明日につなげる意見交換

